

公安委員会定例会議(第30回)の開催状況

第1 日 時 令和4年12月7日(水)
午後1時30分 ～ 午後4時25分

第2 出席者 五葉委員長、曾我部委員、佐伯委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 佐伯委員説示

最近心に響いた言葉がありました。「日本サッカーの父」と呼ばれるドイツ人のデットマーレ・クラマー氏の「高い頂には広い裾野がある」という言葉です。クラマー氏は、1964年東京五輪の直前までサッカー日本代表の顧問を務め、日本が1968年メキシコ五輪で銅メダルを獲得する原動力になった人物です。当時のクラマー氏は、「基礎を固めてこそ、その上に立派な建物ができる」と考え、基礎練習を徹底したそうです。

それから数十年が経過し、日本は一度も勝ったことがない強豪ドイツに今回のワールドカップで勝利するという歴史的快挙を成し遂げ、その後も強豪国を相手にドラマチックで素晴らしいプレーで観衆を魅了し、多くの日本人に感動を与えました。

今回の快挙は日本代表の選手が成し遂げたものですが、これはトレーナーはもとより、学生時代の恩師、友人や同僚、栄養士など選手の支えとなった方がいてくれたからです。クラマー氏を含む様々なスタッフの数十年にわたる努力が、今回の成果を成し遂げたことにとっても感動しました。

こうした直接スポットライトが当たることがない、陰で選手を支え快挙に導く多くのスタッフの御苦勞に改めて敬意を表したいと思います。

次に、先日、警察学校で開催された女性警察官と女性一般職員による「ひめワークセミナー」に参加した際に感動した出来事、言葉についてお話しします。

それは事件捜査実習で講師役の女性警察官が「分からないことがあれば24時間いつでも私の携帯電話に連絡して下さい」と話したことです。その覚悟やプロフェッショナルとしての姿勢に非常に感銘を受けました。

また、性犯罪被害者対応について説明した女性警察官からは、「非常につらい仕事であるが、誰かがやらなければならない仕事である」とサラッと話したその毅然とした態度や姿勢に感動しました。

こうした女性警察官のやる気に満ち溢れた話や堂々とした姿を見聞きし、改めて一市民として、そのひたむきな使命感や責任感、働く姿勢に心から感謝すると同時に、同じ女性として誇らしく感じました。

今後とも、一般職員を含め女性警察職員の活躍に大いに期待しています。

2 決裁事項

- (1) 公安委員会定例会議の会議録
総務室から、令和4年第29回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。
- (2) 公安委員会宛て苦情申出の受理
総務室から、公安委員会宛て苦情申出の受理について伺いがあり了承した。
- (3) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答
総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。
- (4) 愛媛県公安委員会等に係る行政手続等における情報通信の技術の利用に関する規則の一部改正
警務部から、愛媛県公安委員会等に係る行政手続等における情報通信の技術の利用に関する規則の一部改正について伺いがあり了承した。
- (5) 禁止命令等実施報告
生活安全部から、禁止命令等実施報告について伺いがあり了承した。
- (6) 警察職員等の派遣に係る援助要求
刑事部から、警察職員等の派遣に係る援助要求について伺いがあり了承した。
- (7) 審査請求に係る裁決書
交通部から、審査請求に係る裁決書について伺いがあり了承した。
- (8) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞
交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果15件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

3 報告事項

- (1) 令和4年度第2回警察署協議会の開催状況
総務室長から、令和4年度第2回警察署協議会の開催状況について報告があった。
委員から、「各署の協議会には、それぞれの地域特性を踏まえた活動に取り組んでいただき感謝する。引き続き、積極的な意見・提言をいただきたい」の発言があった。
委員から、「地域住民が特殊詐欺の被害に遭わない対策の一つとして、ご朱印などの流行りそうな品物を活用した広報啓発にも取り組んでいただきたい」の発言があった。
- (2) 職務倫理に関する研修会の開催
警務部長から、職務倫理に関する研修会の開催について報告があった。
委員から、「警察の倫理が世間一般とかけ離れたものになっていないか、機会あるごとに見直していただきたい」の発言があった。
委員から、「職員一人一人が人権について学び、人権に配慮した適正な職務執行を推進していただきたい」の発言があった。
- (3) メンタルヘルス教養の実施

警務部長から、メンタルヘルス教養の実施について報告があった。

委員から、「日頃から上司や同僚に様々な悩みや思いを相談しやすい職場環境づくりに努めていただきたい」の発言があった。

委員から、「悩み等を抱える職員を一人にすることなく、組織でしっかり対応していただきたい」の発言があった。

(4) 第61回「愛媛県民の警察官」表彰式の開催

警務部長から、第61回「愛媛県民の警察官」表彰式の開催について報告があった。

委員から、「表彰は職員の励みになる。引き続き、様々な賞揚の機会を設けていただきたい」の発言があった。

(5) 官民連携によるサイバー犯罪被害防止高齢者対策の推進

生活安全部長から、官民連携によるサイバー犯罪被害防止高齢者対策の推進について報告があった。

委員から、「携帯電話販売店等と連携し、犯罪につながる悪質なアプリ等の危険性についても広報していただきたい」の発言があった。

委員から、「利便性を追求することでサイバー攻撃を受ける確率も高まる。引き続き、犯罪者の先手を打った広報啓発に取り組んでいただきたい」の発言があった。

委員から、「サイバー犯罪の攻撃手法は日進月歩であり、捜査は複雑かつ困難を極めるが、職員の捜査能力の向上を図りながら一つ一つ確実に対応していただきたい」の発言があった。

(6) 令和4年「年末の交通安全県民運動」の実施

交通部長から、令和4年「年末の交通安全県民運動」の実施について報告があった。

委員から、「周囲の視野が悪くなる薄暮時間帯に歩行者が交通事故に遭わないためにも、引き続き、明るい服装の着用や反射材を活用して自分の存在を周囲に知らせることの大切さなどを広報し、地域住民の交通安全意識の高揚を図っていただきたい」の発言があった。

委員から、「年末には、一般的に飲酒の機会も増えることから、飲酒運転の絶無に向けた各種取組を徹底していただきたい」の発言があった。

(7) 臨時警察署警備課長等会議・警護訓練の実施

警備部長から、臨時警察署警備課長等会議・警護訓練の実施について報告があった。

委員から、「来年5月のG7広島サミットに備え、抜け穴がないようあらゆる場面を想定した警護訓練に取り組んでいただきたい」の発言があった。

委員から、「県警全体の警護能力の向上を図り、要人警護に万全を期していただきたい」の発言があった。

(8) テロ対策愛媛パートナーシップ推進会議総会の開催

警備部長から、テロ対策愛媛パートナーシップ推進会議総会の開催について報告があった。

委員から、「職員一人一人がテロは日本国内でも起こり得るという危機意識を堅持して対応していただきたい」の発言があった。

委員から、「関係機関等との連携強化に努め、テロの未然防止を徹底していただきたい」の発言があった。

(9) 苦情の受理及び処理状況

総務室から、令和4年11月末現在の苦情の受理及び処理状況について報告があった。

(10) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

(11) 損害賠償事案の知事専決処分

警務部から、損害賠償事案の知事専決処分に関する報告があった。

(12) 全国警察逮捕術大会及び全国警察拳銃射撃競技大会の結果

警務部から、全国警察逮捕術大会及び全国警察拳銃射撃競技大会の結果に関する報告があった。

(13) 各留置施設に対する実地監査の結果

警務部から、各留置施設に対する実地監査の結果に関する報告があった。

(14) 自転車乗車用ヘルメットの着用率向上方策

交通部から、自転車乗車用ヘルメットの着用率向上方策に関する報告があった。

4 その他

(1) 刑事部長から、12月1日に検挙した特殊詐欺事件の概要について報告があった。

(2) 本部長から、「警察はチームプレーで各種業務を進めており、組織が大きい分、裾野も広いことから、委員説示のとおり、日の目が当たる表看板の部門だけでなく、いわゆる縁の下の部門にも日の目が当たるよう配意したい」「特殊詐欺を始め各種警察業務を推進するに当たり、各方面に協力をいただいている。引き続き、こうした関係機関、団体や地域の方々から必要な協力をいただき、業務を推進してまいりたい」との発言があった。

以上